

日本でも歴史の古いチューリップ。品種もさまざま。

< 植物名 >

チューリップ
ツリパ

水やり

水はけの良い土を好む。植え付け後の秋～冬は多少乾燥気味に、早春～花の季節には土の表面が乾いたら水やりを。

置き場所

戸外の日当たりの良い場所に置く。夏は乾燥し、冬は湿潤な場所が適している。

用土肥料

生長期から開花までの期間はほとんど肥料は必要ない。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

花後、葉が黄変したら球根を掘り上げ、乾燥保存する。

使い方 花壇、鉢植え

学名 Tulipa

英名

属名 チューリップ

科名 ユリ

性状(分類) 球根植物

原産地 小アジア、北アフリカ

花の色 黄、ピンク、白、オレンジ、グリーンなど

開花期 春

購入時期

草丈

ID 146

季節 春

JFコード 14549



冬越しと置き場所

日光を好む。戸外の日当たりの良い場所に置く。夏は乾燥し、冬は湿潤な場所が適す。十分に寒さに当たらないと花芽が生長しないので、観賞のため室内に取り込む場合は早く取り込み過ぎないように注意。

その他の解説

花後、葉が黄変したら球根を掘り上げ、乾燥保存する。生長期から開花までの期間はほとんど肥料は必要ない。3000種以上もある園芸品種は、花の咲く時期によって早生、中生、晩生種に分かれている。最近は、原種やその交配種も人気。

特徴1

水はけの良い土を好む。植え付け後の秋～冬は多少乾燥気味に、早春～花の季節には土の表面が乾いたら水やりする。花後に花弁が葉の上に散ると葉が腐り、球根の充実を妨げるので注意する。

特徴2

16世紀に、原産地の小アジア(トルコ)からヨーロッパ(オランダ)へもたらされ、園芸化されていった。「チューリップ狂時代」と呼ばれる異常人気を集めた時代には、球根の値段が国の経済を大きく動かすほど。日本へは江戸時代の文久年間に渡来している。花色も花型も実に多彩で、紫や黒の花、また一重、八重、ユリ咲き、カップ咲き、フリル咲きなど多彩な品種が揃う。